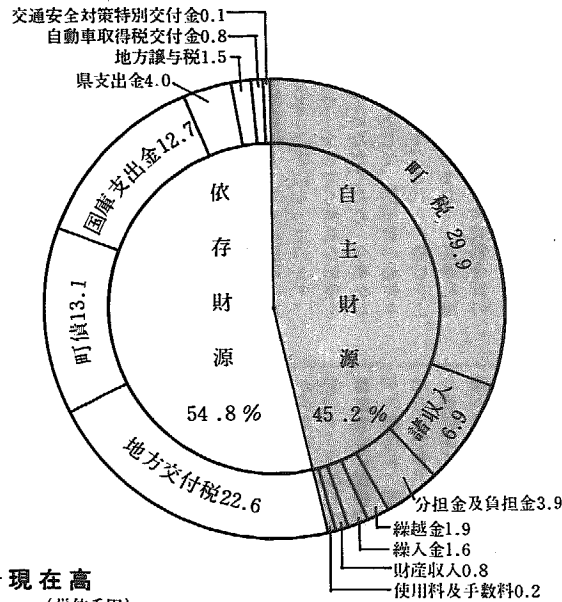


昭和55年度
一般会計におけるおもな事業

100万円以上(単位千円)

自転車駐車場設置事業費	1,152
交通安全対策事業費	2,689
中ノ口河川児童遊園整地事業	1,032
家庭下排水溝改善整備事業費	1,259
新農業構造改善事業費	3,000
地盤沈下対策事業費	10,614
広域・広域関連農道事業費	1,236
農村総合整備モデル事業費	36,848
信濃川築堤受託事業費	1,898
踏切保安設備設置事業費	2,458
町道整備事業費	278,873
県道整備事業費	9,560
河川公園基本計画委託事業費	1,900
都市下水路事業費	173,185
救急自動車購入事業費	3,600
防火水そう設置事業費	4,839
金巻ポンプ置場新築事業費	1,140
消火せん新設及び移設事業費	4,350
大野小学校改築事業費	288,502
黒崎中学校増築事業費	142,534
黒崎中学校グラウンド整備事業費	3,300
黒崎中学校自転車置場設置事業費	1,525
緒立発掘調査に伴う仮設事業費	15,502
給食センターボイラー設置事業費	4,318
野球場夜間照明施設設置事業費	43,176
失業対策事業費	3,741
その他	15,131
合計	1,059,240



借入金現在高
(単位千円)

借入先	金額
大蔵省資金運用部	998,184
郵政省簡易保険局	596,135
公営企業金融公庫	264,000
市中銀行	368,360
その他の金融機関	216,880
共済組合	9,075
新潟県	98,914
合計	2,550,548

町民1人当たりの税負担

町民税	21,252円
固定資産税	19,600円
軽自動車税	365円
たばこ消費税	3,235円
電気税	2,277円
ガス税	97円
鉦産税	420円
特別土地保有税	1,306円
入湯税	76円

町の台所

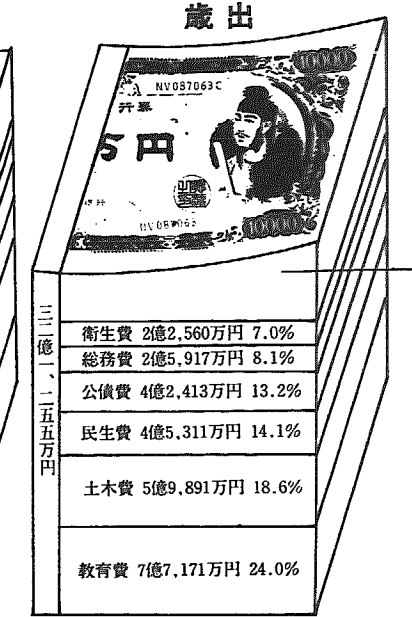
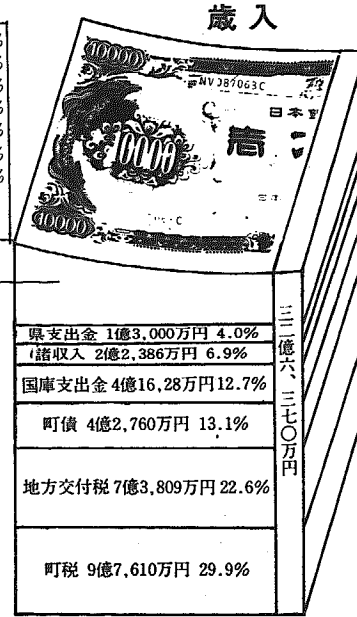


昭和55年度一般会計決算

昭和55年度の黒崎町の家計簿がどのようになっているのかをお知らせするのが、財政状況の公表です。
町の台所は、みなさんから納めていただく町税、国・県からの支出金や借入金(町債)などによってまかなわれています。昨年の12月議会で決算が上程され、審議されました。今号でその内容をお知らせします。

農林水産業費	1億4,367万円	4.5%
消防費	1億4,055万円	4.4%
商工費	7,911万円	2.5%
議会費	6,026万円	1.9%
諸支出金	4,898万円	1.5%
災害復旧費	350万円	0.1%
労働費	386万円	0.1%

分担金及負担金	1億2,732万円	3.9%
繰越金	6,107万円	1.9%
繰入金	5,100万円	1.6%
地方譲与税	4,783万円	1.5%
財産収入	2,617万円	0.8%
自動車取得税交付金	2,594万円	0.8%
使用料及手数料	840万円	0.2%
交通安全対策特別交付金	244万円	-
寄附金	160万円	-



昭和五十五年度の一般会計の決算は、歳入三十二億六千三百六十九万六千円に比し、歳出三十二億一千二百五十五万一千円であり、差し引き五千四百四十五万五千円となり、本年度に繰り越しました。
項目別のおもな決算額の内容はグラフに表わしたとおりですが、歳出は教育費がトップを占め、次いで土木費、民生費の順となっております。
教育費については、大野小の改築、黒崎中の増築事業に四億三千万円を投入し、りっぱな校舎が完成しました。二位の土木費は町道の改良、舗装事業に二億七千八百万円、都市下水路事業に一億七千三百万円の巨費を投入し、環境整備を行いました。三位の民生費は保育所幼児の育成に一億四百万円、老人医療の無料化に八千万円などを支出し、福祉の向上に努めたものです。
ところが公債費(借入金の返済)が第四位を占め、四億二千万円にも昇っており、苦しい家計状態を示しています。いずれにしても歳入の五〇%以上を国や県に依存しなければならぬ状態が続くかぎり安定した家計(財政)は望められないのが現状のようです。
農村公園設置事業
特別会計